

146回 みやまえロビーコンサート

平成 18 年 1 月 26 日（木）12:10～ 宮前区役所 2 階ロビー

プログラム

風と共に去りぬ
オペラ座の怪人
テイクファイブ
さくら
ボレロ
ひとつ



神田 将（かんだ ゆき）（エレクトーン）

1967 年生まれ、東京都出身。10 歳からピアノ、11 歳から作曲を始める。感性を養うために世界各国を旅したのち、ピアノおよびエレクトーン演奏活動を始め。現在は幅広い選曲と軽快なトークをおりませたソロコンサートやディナーショーを中心に活躍中。特にエレクトーンの可能性を極限まで引き出したスタイリッシュでテーマ性の高いオリジナル曲の演奏は人気が高く、幅広い層のファンを持っている。2001 年 10 月には、IMC（国際音楽評議会）総会の初の日本開催にあたり東京芸術劇場で催された記念演奏会に出演し、世界各国の音楽関係者から高い評価を受けた。また、たった 1 台のエレクトーンでフルオーケストラを超えるサウンドを奏でるその高い音楽性は、世界的オペラ演出家ミハエル・ハンペ氏に絶賛されるなど、オペラや声楽の伴奏者として他のエレクトーンプレイヤーの追随を許さない独自の地位を築き、クラシックとテクノロジーを融合した新しい試みとして注目を浴びている。特に近年は、世界的ソプラノ歌手サイ・イエングアン（崔岩光）の共演者として、紀尾井ホールや東京オペラシティコンサートホールをはじめ各地でのコンサートに出演している。またわが国を代表するバリトン歌手直野資をはじめ、中国を代表する二胡奏者・姜建華（ジャン・ジェンホワ）、日米で活躍する兄弟オペラ歌手崔宗順・崔宗宝との共演など、ジャンルや国境を超えた活躍で音楽のフロンティアを拡大している。さらに、若手音楽家集団サウンドオアシスを主宰し、オペラガラコンサートや本格的オペラ公演「椿姫」を実現するなど、演奏家の枠を超え活躍の場を拓いている。